

# 平成27年度 水産研究所組織体制と事務分掌

水産研究所  
現在員 39名

所長 遠藤 晃平

研究管理監 山田 浩且

## 総務調整課 10名

副参事兼課長	鈴木 昌博
主幹(課長代理)	田岡 洋二
主事	吉崎 将大
技師	泊 ゆかり
主幹兼船長	松尾 剛平
機関長	岡本 楠清
主任技術員	柴原 浅行
主任技術員	谷水 宗美
技術員	久保 典敬
技術員	西川 俊

- 1 職員の身分及び服務に関すること
- 2 予算、庶務経理及び決算に関すること
- 3 財産の管理に関すること
- 4 調査船の運営および維持管理に関すること

## 企画・資源利用研究課 6名

総括研究員兼課長	山田 浩且
主幹研究員(課長代理)	水野 知巳
主幹研究員	井上 美佐
主幹研究員	久野 正博
主幹研究員	岡田 誠
研究員	丸山 拓也

- 1 水産試験研究に係る企画調整及び情報提供並びに産学官連携に関すること
- 2 漁況および海況に係る試験研究に関すること
- 3 資源管理及び資源増大技術に関すること
- 4 水産物の付加価値向上に係る試験研究に関すること

## 水産資源育成研究課 5名

主幹研究員兼課長	松田 浩一
主幹研究員(課長代理)	土橋 靖史
主幹研究員	田中 真二
主任研究員	阿部 文彦
主任技術員	大田 幹司

- 1 魚介類の種苗生産、育種技術及び養殖技術に係る試験研究に関すること
- 2 水産動植物の病害対策に係る試験研究に関すること
- 3 栽培漁業センターの技術指導に関すること

## 水圏環境研究課 5名

主幹研究員兼課長	藤原 正嗣
主幹研究員(課長代理)	中西 尚文
主幹研究員	坂口 研一
主幹研究員	増田 健
総括技術員	西川 次寿

- 1 漁場環境の保全再生に係る試験研究に関すること
- 2 赤潮及び貝毒に係る試験研究に関すること
- 3 海藻類の増養殖技術に係る試験研究に関すること

## 鈴鹿水産研究室 6名

主幹研究員兼室長	林 茂幸
主幹研究員兼課長	畑 直亜
主任研究員	国分 秀樹
主任研究員	羽生 和弘
主任研究員	岩出 将英
主任技術員	橋本 篤

- 1 のり養殖に係る試験研究に関すること
- 2 伊勢湾の生態系及び環境の保全再生に関すること
- 3 伊勢湾の資源管理および資源増大技術に係る試験研究に関すること
- 4 内水面の生態系及び環境の保全再生に係る試験研究に関すること

## 尾鷲水産研究室 6名

主幹研究員兼室長	青木 秀夫
主幹研究員兼課長	宮本 敦史
研究員	遠原 幸奈
研究員	中村 砂帆子
技術員	藤原 克彦
技術員	田畑 直也

- 1 海水魚の育種技術、養殖技術及び種苗生産技術に係る試験研究に関すること
- 2 海水魚の病害対策に係る試験研究に関すること

## 平成27年度における水産研究所の取組み

事業名	予算額 (千円)	事業概要	担当	年度
<b>1. 水産研究所予算</b>				
<b>(施策 31104) 水産技術の研究開発と移転</b>				
<b>●水産関係県単経常試験研究費</b>				
① 革新的イセエビ幼生飼育技術の開発	1,420	イセエビ幼生飼育の安定化と効率化を進めるとともに、抗生物質を使用しない飼育技術を開発する。	水産資源育成研究課	H26～28
② 英虞湾漁場環境調査	2,548	英虞湾の水底環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する。【志摩市補助】	水圏環境研究課	H25～29
③ 伊勢湾の複合型藻類養殖技術開発事業	853	伊勢湾での青ノリ養殖の適地把握や混入防止技術開発、青ノリ養殖による複合経営の費用対効果の検証を行い、複合型藻類養殖の技術開発を目指す。	鈴鹿水産研究室	H27～30
④ アユの減少要因の解明に関する研究	714	アユの生息環境を調査し、減少要因を把握するとともに、その軽減策を検討する。	鈴鹿水産研究室	H25～27
<b>●みえの養殖水産物計画生産体制構築事業費</b>				
① みえのもうかる養殖ビジネスモデル確立事業	5,241	最適な複合養殖の組合せ(ポートフォリオ)とその経営改善効果を養殖業者に提示するとともに、経営改善効果を把握するための実証試験を行う。複合養殖の対象種について、コスト削減など養殖生産上の課題を解決するための技術開発に取り組む。	尾鷲水産研究室	H26～28
<b>●水産業技術高度化研究開発推進事業</b>				
① 研究基盤向上	735	外部評価委員による研究評価委員会開催等を行う。	企画・資源利用研究課	H17～
② 伊雑の浦環境改善技術効果把握調査	1,000	漁場環境が悪化している伊雑の浦において実施される各種の環境修復の取り組みに関して、その効果を調査し評価する。【志摩市委託】	水圏環境研究課	H25～27
③ 海女漁業の再興を支援する複合魚種の高度生産システムの開発と革新的販売方法の開発と導入	6,136	大型アワビ種苗の放流による地撒き式生産システムの導入を図るとともに、アワビの蓄養環境の最適化による蓄養中のへい死軽減対策を確立する。【農林水産省農林水産技術会議委託】	水産資源育成研究課	H25～27
④ クルマエビ放流技術向上対策調査	591	的矢湾～伊勢湾口外域を対象に、成長段階や季節により多様な生息場所を利用するクルマエビの生活史に対応した効果的な放流技術を開発する。【志摩市委託】	企画・資源利用研究課	H25～27
⑤ 優良アコヤガイの導入等による真珠品質の向上と安定化の実証研究	10,000	水産研究所が開発した閉殻力の優れたアコヤガイ(スーパーアコヤガイ)を養殖現場へ導入し、生産される真珠に占める高品質真珠の割合を向上させる。【独立行政法人 農業・食品産業総合技術研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター委託】	水産資源育成研究課	H26～27
⑥ 二次的自然「里海」の短寿命生態系におけるブルーカーボン評価に関する研究	5,660	代表的な閉鎖性海域である伊勢湾、東京湾、大阪湾において、比較的寿命の短い海藻や貝類等によって吸収される二酸化炭素(CO2)を定量化し、「ブルーカーボン」として評価できるかを検討する。【環境省委託】	鈴鹿水産研究室	H26～28
⑦ レギュラトリーサイエンス新技術開発事業	800	従来の貝毒監視体制の問題点を洗い出し、新たな貝毒監視体制へ更新するため、簡易プランクトン採集方法および簡易貝毒検査法を検討する。【農林水産省消費安全局委託】	水圏環境研究課	H26～28
⑧ アサクサノリ製品の品質管理・評価のための技術開発	400	アサクサノリの板ノリ製品中のアサクサノリ含有量を定量化するための手法を検討する。【一般財団法人海苔増殖振興会委託】	鈴鹿水産研究室	H26～27
⑨ アサリ資源回復のための母貝・稚貝・生育場の造成と実証	3,158	アサリの産卵に適した天然漁場や造成漁場に、稚貝場や生育場から採集した稚貝を移植し、アサリ資源の回復を目指す。【水産庁委託】	鈴鹿水産研究室	H27～29
⑩ 二枚貝の養殖等を併用した高品質なノリ養殖技術の開発事業	3,029	二枚貝養殖によるノリへの栄養塩供給量の推定手法とノリの生理状態評価手法の開発に取り組む。【水産庁委託】	鈴鹿水産研究室	H27～30
⑪ イセエビ幼生の飼育技術の高度化に関する研究	821	薬剤を用いないイセエビ幼生の大量培養を行うため、飼育環境の改善や飼育コスト削減に向けた技術開発を行う。【公益財団法人 岡三加藤文化振興財団委託】	水産資源育成研究課	H27
⑫ 次世代省エネ型閉鎖循環式陸上魚類養殖システムの飼育環境制御に関する研究	1,000	効率的な魚類飼育技術の開発およびコスト削減をめざした飼育システムの改良を進め、省エネ型の閉鎖循環式陸上魚類養殖システムの開発を目指す。【民間企業との共同研究】	尾鷲水産研究室	H26～28
⑬ 海産魚類養殖における生産コスト削減をめざした低・無魚粉EP飼料の開発事業	2,500	高騰している魚粉の配合割合を削減したマダイ用飼料を開発するとともに、無魚粉飼料による肉質の改善効果を明らかにする。【農林水産省農林水産技術会議委託】	尾鷲水産研究室	H27
<b>●資源評価調査事業費</b>				
① 資源評価調査事業	15,026	漁獲統計資料の解析、生物測定、調査船調査の結果により、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・スルメイカ・トラフグ等の資源量を評価し、漁獲可能量(漁獲割当量)算出の基礎資料を収集する。【水研センター委託】	企画・資源利用研究課	H12～
<b>●日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費</b>				
① 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	2,252	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため、国を中心とした全国組織のもとに、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。【水研センター委託】	企画・資源利用研究課	H13～
<b>●熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費</b>				
① 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	2,289	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの監視および長期的変遷と発生環境を把握すると共に、有害赤潮のシード供給メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する。【水研センター委託】	水圏環境研究課	H25～29

事業名	予算額	事業概要	担当	年度
●新しい真珠養殖技術実証化事業費 ① 新しい真珠養殖実証化事業費	2,396	光沢の良好な真珠を生産するため、養殖条件の解明やアコヤガイ(スーパーピース貝)の作出や改良を行うとともに、養生技術の効率化と普及を実施し、三重県の真珠養殖を支援する。【みえの真珠養殖再生支援協議会委託】	水産資源育成研究課	H24~27
●水産業試験研究管理費 ① 管理費	49,711	水産研究所の施設の管理運営を行う。	総務調整課	
<b>2. 水産資源課、水産基盤整備課、フードイノベーション課等予算</b>				
<b>(施策11302) 農水産物の安全・安心の確保</b>				
●消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費 (水産資源課執行委任)				
① 養殖衛生管理体制整備事業	853	飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。	水産資源育成研究課、鈴鹿・尾鷲水産研究室	H15~
② 貝毒安全対策事業	52	貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。	水圏環境研究課	H18~
<b>(施策31402) 高い付加価値を生み出す水産業の確立</b>				
●持続的な水産物供給体制構築事業 (水産資源課執行委任)				
① 新規疾病対策	50	養殖魚類の新規重大疾病(ヒラメドア症、アピキセノハリオチス症等)について、種苗生産時の病原体保有検査や養殖管理指導を行い、蔓延を防止する。	水産資源育成研究課、尾鷲水産研究室	H24~
② 漁場環境適応型黒ノリ養殖業に向けた技術開発	886	三重県の漁場環境に適応した黒ノリ新品種の作出や製品の高品質化に取り組み、持続的な黒ノリ養殖業の実現を目指す	鈴鹿水産研究室	H27~30
③ 環境とカラダにやさしい"海藻"の増産・安定供給技術開発事業	330	健康食として注目される海藻類の増産を図るため、ヒジキ、イトノリ類(ウスバアオノリ)、ヒトエグサによるリスク回避型の海藻養殖技術開発を行う。	水圏環境研究課	H27~29
●産学官連携「みえのリーディング水産商品等」開発事業 (フードイノベーション課執行委任)				
水産物フードイノベーション推進事業				
① 伊勢まだい肉質改善向上研究開発事業	469	養殖マダイに海藻類、柑橘類、茶葉およびハーブ等を添加した飼料を給餌して飼育し、飼育成績や身質を分析し、鮮度保持効果や身質向上効果など、その付加価値向上効果を把握する。	尾鷲水産研究室	H23~27
② アサリ資源再生産モデル構築事業	162	アサリ母貝の生物資源再生産サイクルを構築するため、禁漁区にした母貝アサリ漁場モデルづくりを構築する。また、アサリ浮遊幼生の着底状況の実態解明研究とその後のアサリ育成状況の資源増殖管理を構築する。	鈴鹿水産研究室	H24~27
③ アサクサノリ復活生産モデル構築事業	160	アサクサノリ養殖株の特性評価を行うとともに、県内漁場で養殖を行う。	鈴鹿水産研究室	H24~27
水産技術クラスター構築による水産物高付加価値化促進事業				
① 水産技術クラスター構築による水産物高付加価値化促進事業	1,125	漁業、水産業の収益性向上のために、産学官で水産技術クラスターを構築し、連携して水産業に関係する新しい技術の導入や水産資源の有効活用、付加価値向上に向けた取り組みを行う。	企画・資源利用研究課、尾鷲水産研究室	H23~27
●みえの食バリューチェーン構築事業 (フードイノベーション課執行委任)				
① みえの食バリューチェーン構築事業	1,000	海藻等水産物の機能性成分の探索と機能性成分を活かした商品開発を行う。	企画・資源利用研究課	H27~29
●資源管理体制・機能強化総合対策事業 (水産資源課執行委任・三重県資源管理協議会委託)				
① 資源管理協議会推進事業	7,950 (の一部)	沿岸水産資源の資源管理に必要な海況情報の解析・提供、水産資源の評価を行い、資源管理の取り組みの支援を図る。	企画・資源利用研究課、水産資源育成研究課	H23~27
●海女漁業資源増大対策事業費 (水産資源課執行委任)				
① アワビ放流効果向上事業	1,622	効果的なアワビ種苗放流マニュアルの定着促進と、コンクリート板を用いた新たな漁場造成技術導入による放流効果を検証する。	水産資源育成研究課	H26~28
<b>(施策31403) 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築</b>				
●県単沿岸漁場整備事業費 (水産基盤整備課執行委任)				
① 熊野灘浮漁礁技術活用促進調査	4,740	浮漁礁設置海域周辺の流動環境、魚群の網集状況等を調査し、浮漁礁の効果的な運用・活用方法を検討するための基礎資料を得る。	企画・資源利用研究課	H24~27
●海女漁業等環境基盤整備事業 (水産基盤整備課執行委任)				
① 人工藻礁におけるヒジキ増殖に関する研究	2,500	ヒジキ藻礁の設置によるヒジキの資源増大を図るとともに、ヒジキに適した人工藻礁基質を検討する。	水圏環境研究課	H25~27
② 造成アマモ場と二枚貝との関係に関する研究	2,000	アマモ場が有する水産有用種の生息機能の向上を定量的に把握し、造成アマモ場を用いた資源管理手法を提案する。	鈴鹿水産研究室	H21~27
③ 藻礁整備事業	700	海藻の生育と水産資源の棲みつきの両方に適した藻礁の構造について検討し、今後の藻礁整備技術に関する提言を行う。	水産資源育成研究課	H24~27
④ アサリ母貝場干潟造成効果評価事業	2,800	四日市市楠地先に造成中の干潟と周辺域で、アサリの生息状況や生息環境、浄化能力を把握し、アサリ母貝場干潟の造成効果を評価する。	鈴鹿水産研究室	H26~27